



南越前町

議会だより

2021.5

Vol.35



通学路に咲く満開のハナモモ

Contents

- ②-③ 3月定例会報告・当初予算特別委員会報告
- ④ 常任委員会報告
- ⑤ 代表質問
- ⑥-⑧ 一般質問
- ⑨ 4月臨時会報告・主な議会活動報告
- ⑩ エコクリーンセンター南越竣工式・
タブレット講習会受講レポート
- ⑪ 歴代議長に聞く(向瀬英渡氏)
- ⑫ あなたの出番です・編集後記



ハナモモの花

3月定例会

3月定例会は、3月1日から19日までの19日間の日程で開催されました。

本会議の開催

3月1日午前10時に開会し、令和2年度補正予算や令和3年度当初予算をはじめ、南越前町母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正、工事請負変更契約の締結についてなど36議案を上げました。また、2件の専決処分事項の報告がありました。

2日の本会議では、令和2年度一般会計補正予算及び特別会計等補正予算など、11議案を原案のとおり可決しました。また、議員全員で構成する「当初予算特別委員会」を設置して、令和3年度当初予算の審査を付託することになりました。条例などその他の議案は、関係する各常任委員会に審査を付託しました。

当初予算特別委員会の開催

3月3日から16日の間に当初予算特別委員会を開催し、委員会に付託された各会計の当初予算12議案について審議しました。

代表質問・一般質問の実施

3月9日の本会議では、代表質問と一般質問が行われ、計7名が町政全般について町長の考えを質しました。

各常任委員会開催

3月4日、総務文教常任委員会を開催し、委員会に付託された議案を審議しました。

3月10日、産建厚生常任委員会を開催し、委員会に付託された議案を審議しました。

現地視察の実施

3月11日、議員全員で町内視察を行いました。午前中は、「奥野宏による夜叉ヶ池・ヤシャゲンゴ



夜叉ヶ池・ヤシャゲンゴロウ資料展示室視察

ロウ資料展示室」を視察し、担当課長から説明を受けました。また今庄駅にある「まちなみ情



南条ふるさと資料館国華視察



有害鳥獣分解処理施設視察

報館」で昔の宿場町を再現したジオラマなどを見学しました。

午後からは、「南条ふるさと資料館国華」を視察し、町の担当者から説明を受けました。

3月12日には、大野市にある有害鳥獣分解処理施設等の視察を行い、捕獲したイノシシ等を微生物により分解する処分方法について、市の担当者から説明を受けました。

本会議の開催

3月19日は採決を行い、一般会計当初予算並びに特別会計・企業会計当初予算12議案、及び条例の一部改正や工事請負変更契約など15議案を原案のとおり可決しました。

また、南越前町副町長の選任についての議案では、北野徹氏（糠）を、南越前町教育長の任命についての議案では、上田康彦氏（下牧谷）を、それぞれ選任・任命することに同意しました。

また、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについての議案では、和田幸江氏（阿久和）と加藤幹雄氏（東大道）を適任とし、同意することにしました。

当初予算特別委員会報告

令和3年度当初予算特別委員会に付託された各会計当初予算12議案を期間中の3月3日から16日までの14日間、所管ごとに説明者出席を求めて慎重に審議し、全会一致で原案のとおり可決しました。また、審議の過程で特に議論して指摘した事項は、次の通りです。

指摘 主要施設や集落への防犯カメラの設置を促進していただくことは非常に良いことではあるが、不法投棄に対する監視や、交通事故多発箇所、渋滞箇所並びに通学路における事故、犯罪などの防止を図るための防犯カメラ設置を優先して対応するよう検討されたい。

回答 町ではこれまで、犯罪の抑止効果と犯罪発生後の検証手段と二次被害防止の観点から、不特定多数の者が利用する役場庁舎、学校、駅などの公共施設を中心に設置をまいりました。

今後は、未設置の主要施設や犯罪の多発が予想される箇所についても計画的に設置を検討し、安全安心なまちづくりを目指してまいります。

指摘 令和4年4月には、町内3中学校が1校に統合され、新しく校歌や校章が制定されるようですが、旧中学校の校舎、授業風景などの映像媒体への保存と併せて、校歌、校章を風化させないよう保存すると共に、各地区において過去に廃校となったものについても、残された映像や校歌などを教育財産として将来的に保存し、町民がいつでもも活用できるように検討願いたい。

回答 令和4年3月に廃校となる中学校の校舎、授業風景などの映像資料や校歌、校章などは、風化防止のためデジタル化による保存に努めてまいります。さらに、各地区において過去に廃校となった小中学校の写真や教科書などの資料の収集については、町で保管しているものに加え、町民に対しても提供を呼びかけます。

また、教育財産として永久に保存し、町民が活用できるようにデジタルアーカイブ化を令和5年度の図書館システムの更新に合わせて検討していきます。

指摘 鳥獣による被害が依然として減少していないため、捕獲の強化などによる個体数の減少を図

ることが重要と思われるので、防護柵等による農地等への出没防止策の推進と併せて捕獲檻、捕獲隊による個体数削減の強化を図り、継続した被害防止を推進していただきたい。併せて、大学などの研究機関との共同研究による被害防止やドローンなどを活用した野生獣の生態の調査など、各種対策についても模索をされたい。

回答 被害防止柵の設置の推進を図るとともに、現在31名にて編成されている有害鳥獣捕獲隊の増員に努めます。隊員の捕獲強化を促す観点から、捕獲頭数に応じてインセンティブが働くよう報償費・委託料の支払いについて協議、検討していくこととします。

また、他自治体での産学官、あるいは学官での取り組み事例を参考に、調査研究していくこととします。

指摘 アユ釣り大会の予算が新年度に計上されているが、アユ釣り客の減少が続いている。アユの放流量を増やし、アユ釣り客の増加を図るよう、町として日野川漁業協同組合などに対し放流量の増加及び釣り客増加対策を講じるよう強く要望をお願いしたい。

回答 日野川漁業協同組合においては、例年、町内30か所、延べ61回にて、約2.8トン、約58万匹の稚アユを放流しているとのことであります。本町においては、放流に対して補助金を交付してありますが、放流量が適止か否かなど、日野川漁業協同組合と協議することとし、釣り客の増加対策を講じるよう強く要望してまいります。

指摘 日野川においては、県が国土強靱化事業として土砂の浚渫や立木の伐採を行ったが、日野川に流入する他の1、2級河川についても、土砂の堆積や立木が茂っていることにより、河川敷内が野生動物の生息域となっており、河川の氾濫防止策と併せて獣害対策としても早急な浚渫や立木の伐採を推進するよう強く県に要望されたい。

回答 令和2年度に福井県において、国土強靱化事業として日野川の土砂撤去や伐木・除根を町内全域にわたり実施しましたが、今後は日野川に流入している8本の1級河川についても大規模自然災害に備え安全・安心な河川環境づくりを推進するため、河川の浚渫の促進について、福井県に対して強く要望してまいります。

当初予算特別委員会風景



理事者側は担当部局ごとに入れ替わって
予算を審議します。

常任委員会報告

▼総務文教常任委員会

(3月4日 開催)



平泉総務文教
常任委員長

当委員会に付託された案件審査のため、3月4日に委員会を開催しました。

付託を受けました「南越前町附
属機関設置条例及び南越前町特別
職の職員で非常勤のもの報酬及
び費用弁償に関する条例の一部改
正について」と「南越前町会計年
度任用職員の給与及び費用弁償に
関する条例の一部改正について」
の2議案について、所管ごとに説
明者の出席を求めて慎重に審査
し、案件審査の過程において、特
に指摘する事項はありませんでし
た。
審査の結果、2議案とも原案の
とおり可決しました。

▼産建厚生常任委員会

(3月10日 開催)



熊谷産建厚生
常任委員長

当委員会に付託された案件審査のため、3月10日に委員会を開催しました。

付託を受けました「南越前町国
民健康保険税条例の一部改正につ
いて」から、「南越前町指定地域
密着型サービスの事業の人員、設
備及び運営に関する基準を定める
条例等の一部改正について」など
の条例関係5議案のほか、「公の
施設の指定管理者の指定につい
て」から「工事請負変更契約につ
いて」までの6議案について、所
管ごとに説明者の出席を求めて慎
重に審査をし、案件審査の過程に
おいて、特に指摘するような事項
はありませんでした。
採決の結果、11議案につきまし
ては、いずれも原案のとおり可決
しました。

代表質問



平泉初男

6つのまちづくり事業について

問 「町民に優しいまちづくり」から、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう生活支援が一体に提供される地域包括ケアシステムの深化を目指す中で「地域ふれあいサロン」を中心とした施策を挙げられておりますが、「地域ふれあいサロン」の充実化や高齢者に対するインフルエンザ予防接種無償化など高齢者に優しい施策の拡充を図るべきではないか。

答 町長 町では、サロン協力員など地域づくり担い手の方々の協力をいただき「地域ふれあいサロン」の活動の充実に力を入れており、今後とも、サロンの参加者の増加、担い手の育成、サロン協力員の運営支援と併せサロン内容の拡充を図っていく予定です。

また、新規事業として、認知症の方や介護者が集える「認知症カフェ」の設置を進め、認知症に優しいまちづくりを目指します。

高齢者のインフルエンザ予防接種については、希望する方が受けられるため、公平性の観点からも、費用の一部をある程度負担していただくことは今後とも慎重に考える必要があると思います。

問 「安全安心して暮らせるまちづくり」から、国土強靱化計画策定に伴い、国道などが通行不能となった場合における地域間を結ぶ幹線道路の改良促進や高波対策、急傾斜地などの災害防止対策など、国、県、関係機関への強い働きかけが必要ではないか。また、各集落における危険家屋、廃屋の把握、撤去に対する強化を早急に図るべきではないか。

答 町長 幹線道路が通行不能となった場合の代替道路としての国道365号栃木峠の改良について、今後とも国、県、関係機関に対し、早期完成を強く要望していきます。また、高波対策、急傾斜の崩落を防ぐ対策事業についても福井県知事に対して強く要望していきます。

危険空き家等に対する対策として、平成28年度の調査で429戸の空き家を確認し、特定空家として40件を認定しました。そのうち10件が解体済みであり、解体撤去に対する補助を拡充して危険空き家対策の強化を図っています。

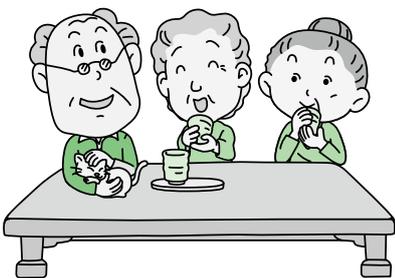
問 「効率的な行財政運営によるまちづくり」から、働き方改革推進と新型コロナウイルス感染症対策のため、町職員のテレワークシステムを挙げておられますが、町民に対する行政サービスの低下、住民対応の停滞、情報漏えいなどのセキュリティの問題は生じないのか。また対象職員と体制はどのようなになるのか。

答 町長 職員の働き方改革及び新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的に在宅勤務を可能とするテレワークシステムを、令和3年4月より運用します。今般、本町が導入するシステムは、事務職員、保健師のうちから42名を在宅勤務可能とするものです。実施職員宅のインターネット環境より、閉域網と呼ばれる専用回線からL2WLAN接続系を利用して、自席のパソコンを遠隔操作するもので、通常のデスクワークが可能であり、

自宅端末からの出力やデータ抜き取り、保存ができない仕組みとなっています。この対策は、福井県のセキュリティ対策と同等の対策となっています。

在宅勤務実施職員は、各所属に在籍の職員数の割合に応じて選抜し、選抜の際には、呼吸器疾患などの基礎疾患がある者、妊娠中の者、基礎疾患がある高齢者と同居している者、中学校就学前の子を養育する者を優先することとします。

テレワークの体制については、基本的な実施頻度として最低2週間に1回の在宅勤務とし、感染状況によって実施頻度を変化させます。テレワークシステムの活用により、コロナ禍においても、安定継続した住民サービスの提供に万全を期してまいります。



一般質問



熊谷良彦

南越前町自主防災組織について

問 当町の自主防災組織の立ち上げの現状を伺う。

答 町長 自主防災組織は集落単位でいざという時の災害に対して、互いに助け合う共助の精神に基づき自主的に結成される組織の事で現在町内の10集落において結成されており、内訳は南条地区5集落、今庄5集落です。結成促進につまましては、役場から担当者が向いて10集落以上で説明会を開催し、自主防災組織の必要性や具体的な取り組みについて、住民の浸透を図っています。思うように増えないのが現状です。

町としては令和6年度までに20集落の組織設立を目指しています。町内には61隊の自警消防隊がありますので、こうした組織を中心とした組織の設立を促進したい

と考えています。

問 自主防災組織を中心的に担ってゆく「防災士」の養成をどのように図っていくのか伺う。

答 総務課長 日本防災士機構が認定する「防災士」は町内で52名、このうち37名が南越前町防災士の会に所属して、仕事を持ちながら防災・減災に関わる普及啓もう活動や自らのスキルアップを目指して活動されています。今後は既存の自主防災組織においてもこの防災士の存在が必要であると考えます。しかしながら、この防災士が各地区・各集落に十分な数がいらつしやらないことから、一定数確保する必要があります。

そこで防災士の取得をより一層促進するために、県が主催する防災士講習会を町内へ誘致する取り組みや受講費の一部を補助することによって、防災士が核となって自主防災組織の立ち上げと運営に関わっていく仕組みを構築していきます。今後とも自主防災組織の結成と防災士の養成に向けて取り組んでいきたいと思っております。



山本 優

一、風力発電計画の対応は

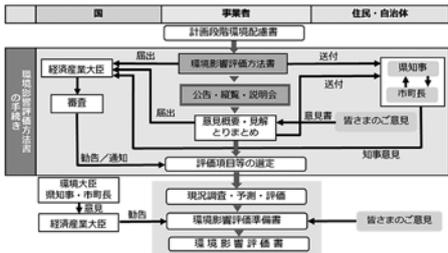
問 少資源の我が国は、再生可能エネルギーの開発は大切だが周辺に風力発電計画があり、地元説明会も行われた。町の対応は。

答 町長 政府の目指す脱炭素社会に不可欠のものと認識しています。一方、環境や住民生活への課題もあり、住民の理解把握のためアンケート調査を行い、環境審議会での検討を踏まえ判断していきます。

問 住民説明会において出た住民の意見把握は。

答 総務課長 説明会での意見を把握し今後の参考としていきます。

問 事業計画ごとに説明会の開催や方法書資料の縦覧



環境影響評価手続きの概要

など段階があり、町として環境の保全に向けた対応を期待しているが、今後の予定は。

答 建設整備課長 町周辺での計画は3件で、それぞれ申請時期が違い3月初めに計画書の縦覧、住民説明会が終了したもの、既に説明会などを終え経産省に環境影響評価方法書が提出された段階のもの等それぞれ必要な手続きが終われば、県知事から意見照会があり、町の環境審議会に諮り町として意見書を提出する予定です。

二、獣害対策について

問 今年も雪解けで獣害が目にする状況だが、現状を把握しているのか。人に慣れてきたサルは人を恐れず、相手が弱いと知ると攻撃される心配もあり、広域での獣害対策と併せ今後の計画は。

答 農林水産課長 昨年1月、12月の獣害は熊の人身被害2件、集落などの調査では、被害面積約36ha金額約1,150万円でした。今後、専門業者による捕獲強化、捕獲檻の増設。住民の花火や爆竹での追い払いにも努めていきたい。更に丹南地域の対策協議会での調査や捕獲の取組みを提案していきます。



加藤伊平

コロナワクチン接種について

問 新型コロナウイルス感染症拡大により、私たちの生活も一変し我慢も限界に近いが、ようやく切り札のワクチン接種が具体化し、町民の期待も高まっている。担当課は通常業務に加えこれまでにない新型コロナウイルス対応業務が1年にわたったうえ、情報不足の中で接種準備が始まり、職員に過剰な負担がかかっているのか。

答 町長 ワクチン接種を迅速かつ適切に実施するため、副町長をリーダーとする職員10名の「新型コロナウイルスワクチン接種対策チーム」を設置し、円滑に接種ができるよう体制を整えています。また、保健師などの職員の雇用も行い、準備に鋭意取り組んでいます。

問 接種券はいつ郵送され、会場、日程はどうなるのか。期間中に接種できない場合はどうすればよいか。

答 保健福祉課長 接種券は、

国からの指示を受けて発送します。券に場所や日程、予約方法などの案内を同封します。町内接種場所は、6つの診療所・医院と南条保健福祉センター・今庄、河野の両住民センターの計9か所で、事前予約制となります。期間は来年2月28日までとなっています。

問 高齢者、病気など自分で会場へ行けない人、本町へ籍を置いてたまま生活拠点が変わる人はどうすればよいか。

答 保健福祉課長 会場に行けない場合は、かかりつけ医による訪問の接種を受けることが出来ます。単身赴任者や学生などは、実際に生活している市町村に申請することにより、住民票所在地以外の市町村で接種を受けることが可能となっています。



大浦和博



一、コロナのワクチン接種について

問 接種予約は、直接役場に電話するの。

答 町長 個別接種は直接医療機関に連絡します。集団接種は、役場専用電話に電話するか、返信用はがきにより予約することになります。

問 共同接種は考えていないのか。

答 町長 県外では実施しているところもありますが、本町及び近隣市町では想定していません。

問 予約したが、急にいけなくなった場合の対応は。その分のワクチンの対応は。

答 町長 あらためて予約を取って頂きます。キャンセルした方のワクチンは、国の指針により対応します。

問 一日当たりの接種者、期間はどれくらいか。

答 町長 一日平均100人。65歳以上の方の1回目終了に2か

月弱、2回目完了は、さらに3週間程度を想定しています。

問 施設入所者や、要介護者、接種を希望しない人の対応は。

答 町長 その施設や病院で接種できます。自宅におられる方は、かかりつけ医が訪問して接種します。接種されていない方は、再度接種案内をします。

二、中学校の活用について

問 令和4年4月に南越前中学校が開校する。開校する2中学校の活用計画のスケジュールは。

答 町長 現時点において、説明できるスケジュールはありません。他の事例を参考にするとともに、地域住民の意向、議会とも相談し、財政状況も考慮しながら来年度以降、慎重に進めていきます。

三、観光業の支援策について

問 新たな支援策は。

答 町長 今後GOTOトラベルなど国の支援策や県の消費喚起策などの動向を見極めながら、関係団体と協議し、地方創生臨時交付金を有効に活用した支援策の企画立案に取り組んでいきます。



井上利治

**新ゴミ処理施設の
運営状況他について**

問 ゴミ焼却後の残渣(灰)の成分調査(塩分や塩素除去後)によりセメントの原材料として有効利用が可能とのこと。セメントメーカーへの安定供給数量、運搬距離等採算性を考慮すべき点はあるが町長のお考えはどうか。一方で残渣(灰)の埋立処分場は今後二十年間使用可能とのことだが、その延命化になる。検討する価値はあるのでは。

答 町長 清掃組合では焼却灰を越前市坂口地区の第二清掃センターの最終処分場で埋立処理をしています。埋立容量156千m³で計画され令和元年度末で48%の75千m³を埋立、残余容量81千m³、今後20年以上使用可能(令和3年以降3.6千m³/年平均)と考えています。セメント材料の活用では灰に含まれる重金属の除去設備などクリアすべき課題もあり今後の

研究課題です。受入可能なセメント工場や、運搬費が安価など費用対効果が見込める場合は可だが県内には実施施設はありません。延命化を図るため3R等の取組を推進していきます。

問 運用開始から現在までのパッカー車の平均搬入台数/日、個人搬入台数/日、搬入数量は。ゴミ分別方法が変わったことによるゴミの数・量の差異は。搬入経路上・運営上の問題点と対策は。トラブルの有無は。

答 町長 運用開始以降トラブルはありません。本格稼働に向け、排ガス測定を実施し組合と連携して適正運営をしていきます。詳細は担当課長より説明します。

答 建設整備課長 1月4日から2月末で定期収集車両・許可車両は30台/日平均、個人持込搬入車両28台/日平均、ゴミの搬入数は定期収集車両許可車両で68.3t、個人持込で4.0tであり前年比1.6tの減でした。また搬入経路はゴミ処理実施計画に基づきルートを決めており事故は発生していません。運営上もドライブスルー方式と自動精算システム採用で順調に進行中です。



山本徹郎

**宅地分譲計画について
一、土地利用計画について**

問 町として、「若者定住に向けた取組」は、今後どのように進めていくのか。

答 町長 町では、人口減少対策として住環境の整備を重要施策として捉えており、若者が定住できる助成制度に取り組んできました。近年では、住宅政策を実施しており、新年度には東大道区の国道365号線沿いに10区画を分譲する計画であり、その費用を令和3年度に予算要求させて頂いています。

答 建設整備課長 近年、実施している分譲地造成や町営住宅建設は、ほぼ完売または入居頂いており、分譲地によっては多くの方に御申込頂いています。しかし、募集区画以上の申込があった場合には、抽選から外れた子育て世帯や新婚夫婦に対してお断りしていま

す。この様な状況を鑑み、令和3年度には東大道区の国道365号沿いに約95坪を5区画と約84坪を5区画の計10区画を整備予定です。この分譲地の情報については、できるだけ早い段階で町広報やホームページなどで発信予定です。

一、土地取得に対する補助について

問 子育て世代の定住者や移住者の土地取得に対する助成について伺う。

答 町長 町では、町分譲地を購入された方に対して、住宅を建てた時に土地分譲価格の最大4割を若い世代の定住に向けた住宅取得補助金として交付しており、事業開始後4年間で22件の利用実績があります。民間事業者が分譲地を造成した場合の助成制度はないが、新築の住宅に対しては住宅新築促進補助金やふるさと企業活性化補助金の対象としています。今後は、民間活力と協働して住宅政策を推進していく為、町内にある遊休地等を民間事業者が分譲地として整備した場合の町道部分や排水路、上下水道の整備に対する経費の一部助成などについて十分検討していきます。

臨時会報告

〔4月臨時会〕

4月臨時会が4月23日に開催され、南越前町税条例等の一部改正及び原子力発電施設等立地地域の指定による町税の特例に関する条例の一部改正について専決処分承認を求める議案が2件、また南条サービスエリア周辺地域振興施設に関する工事請負契約の締結にかかる議案が2件、鯖波工業団地拡張用地にかかる財産の取得に関する議案の合計5議案を上程し、本会議において慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

南越前町議会の 主な活動報告

●2月19日 町村議会議長会定期総会が福井県自治会館で開催され、議長が出席

●2月24日 ほのぼの苑理事会在南条文化会館で開催され、議長が出席



養老孟司氏によるオンライン記念講演会
(左：昭和会館、右：南条文化会館)

●2月26日 「奥野宏による夜叉ヶ池・ヤシヤゲンゴロウ資料展示室」オープン記念講演会が昭和会館で開催され、正副議長、産建厚生常任委員長ほか1名が出席

●4月1日 エコクリーンセンター南越の竣工式が開催され、議長ほか組合議員3名が出席

●5月9日 令和3年度福井県北陸新幹線建設促進同盟会が福井県自治会館で開催され、議長が出席

〔2月から5月の主な会合〕 全員協議会

2月19日、3月1日、2日、
3月19日、4月23日
議会運営委員会

当初予算特別委員会
3月3日、4日、5日、10日、
16日

広報特別委員会
3月3日、4月6日、16日



広報特別委員会風景

各組合議会の主な会合

●2月15日 福井県丹南広域組合議会定例会が鯖江市役所で開催され、正副議長ほか組合議員1名が出席

●3月21日 南越清掃組合議会定例会が越前市役所で開催され、議長ほか組合議員3名が出席
南越消防組合議会定例会が越前市役所で開催され、議長ほか組合議員3名が出席

●3月30日 福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会が福井県自治会館で開催され、議長が出席



「エコクリーンセンター南越」の竣工式が開催されました

越前市、南越前町、池田町の1市2町で構成している南越清掃

組合では、一般廃棄物処理をこれまで越前市家久町で焼却していましたが、施設の老朽化により平成30年10月、南越前町上野地区に新ごみ処理施設の建設を着手し、令和3年1月4日より試験運転を行い、4月1日から本格運転を開始するとともに、奈良俊幸管理者、岩倉光弘副管理者をはじめ、組合議員および地元上野区長等が出席して竣工式を開催し完成を祝いました。

新ごみ施設は周辺環境の配慮と調和を目指すため色彩は茶系色とし、高さを抑えるとともに施設で発生するプラント排水は全て施設内で再利用します。

施設は、ストーカ式焼却炉を採用し、処理能力は、1日84トンのごみを850℃以上の高温で完全



エコクリーンセンター南越竣工式の様子

燃焼し、ダイオキシン類の発生を制御し排ガス中の有害物質を取り除き、きれいになった排ガスを放出します。

また、ごみを燃やしたときに発生する熱を蒸気として回収し、蒸気タービン発電機で発生した1,470KWの電気を施設内外で有効利用を図ります。

子供から大人まで、みんなで楽しく環境について学べる見学施設となっていますので、是非足をお運びください。



エコクリーンセンター南越

タブレット講習会受講レポート

町よりタブレットが貸与されることになったことから、3月18日に全議員を対象にタブレット講習会が行われました。タブレット導入のメリットとしては、議会資料のペーパーレス化が実現できるため、紙コストや印刷コストが削減されることがあります。また、資料作成等の業務効率性が格段に上がることが挙げられます。そして、タブレットの活用方法としては、議会の活性化（例：調査研究資料の作成や議案審議、委員会活動での使用等）に関することが挙げられます。

当タブレットの特徴は、議会運営の効率化、例えば「議会スケジュールの正確かつ迅速な共有」「資料整理が不要」「資料の持ち出しが不要」などがあり、多岐にわたって便利な機器であることが良くわかります。一方で、セキュリティ



貸与されるタブレット端末

ティ面は十分に注意すべきです。議会では、セキュリティを確保するために、セキュリティポリシーを設け、貸与や使用範囲などの要領を定めました。令和3年4月1日より各議員がタブレットを使用することになりますが、不慣れな点も多く、当面は紙資料と並行しての活用となります。近い将来には、紙資料を持ち歩くことなく、タブレット端末のみでの活動が出来るよう議員全員でタブレット端末を活用するため努力して参ります。



タブレット講習会の様子

歴代議長に聞く

向瀬英渡さん

第四代議長に就任された向瀬元議長にお聞きしました。

問 議長就任当時は向瀬さんより年長で経験の長い議員も多かった中での議会運営にはご苦労もあったと思いますが、その辺の状況からお聞きしたいと思います。

答 議長は、合併から6年間3地区を一巡するまでは、話し合いで議長を決めていきましたが、7年目からは選挙を行うこととなり、投票の結果就任す



平成22年6月 松ヶ鼻トンネル開通式にて

ることとなりました。

私は、議員の中でも若い方であったのですが各議員の経験などを参考に相応しい役割をお願いし、結果、議会改革にもいくつかの結果を出すことが出来たと思います。

問 具体的な議会改革での内容はどんなことがありましたか。

答 例としては、一般質問の進め方について、課題が重複しないよう調整すると同時に新人議員には、質問は住民にも分かり易くすることが大切な事など説明しました。

問 議長在任時に東日本大震災が発生しました。当町は原発の準立地で河野では敦賀とは近い所もあり、日本原電の視察など積極的に行ったと思いますがどの様な発言をされましたか。

答 河野は準立地の立場であるが敦賀市役所と河野の大谷地区を比



議会を代表してテープカットする向瀬議長(左)

べると大谷の方が近いことや、東京の文科省では敦賀と東京の緯度は同じで、もし事故が起これば偏西風で放射能は、東京に流れる事になるなど、課題は、点や線でなく面で考えるべきと申し上げました。この時文科省の担当者が日本地図を取り寄せて確認していたのは強く印象に残っています。

問 その他議会活動として積極的に取り組んだことはどんなことがありましたか。

答 他の市町の議会や議連のあり方等を調査しました。その一つとして一般質問は、理事者に対しての質問なので議員席側から町長はじめ理事者に対し行うことしました。

問 議員として、先進地の視察研修は大切な事であり、視察についてはいかがでしたか。

答 三町村が合併して、町独自に交付金を受けられる事業を考えるため、今庄で計画されていた揚水発電について理解を深めるため兵庫県の揚水発電所を視察しました。

この計画は止まっていますが、今後も町にとって必要な事業を執行して頂きたいと思えます。

問 最後に後輩の議員に対してのご意見を聞かせてください。

答 当町は、合併以後も人口減少が続いています。住民の意見を把握し町政に反映することは議員の大切な役割です。その一つとして「一般質問」があります。毎回多くの議員が町の課題を取り上げ、とても活発な議会であると評価しています。皆さんの更なる活躍を期待しています。



平成23年10月 揚水発電所の視察

待ってました!!
あなたの出番です!



河野パイレーツ

母集団会長 川端 健一

河野小学校は、年数を経るとともに児童数も減少し、全校生徒が41人しかいません。



監督・コーチ・母集団とパチリ



セーフ・ホームイン!!

そんな中、野球が好きで野球をやりたい子ども達が集まり、学童軟式野球チーム「河野パイレーツ」として活動しています。練習は、毎週火・水・金・土で、日曜日は主に練習試合をしています。

現在、団員は小学1年生から6年生の男女10人のメンバーで頑張っています。

去年はコロナの影響で、当たり前前に出来ていた野球も出来

ず、試合もなくなり、子ども達は不安な思いをしました。が、今、野球が出来ることのありがたさを改めて実感しています。

子ども達全員一人ひとりが、スキル・体力の向上にと日々練習に励んでいます。

冬場の練習の成果を発揮し、一球一球を大切に、全力プレーで最後まで諦めず勝利を目指して、子ども達と一緒に指導者・母集団も一丸となって頑張っていますので、皆さまの応援、よろしくお願ひします。

河野パイレーツでは、随時新入団員を募集中です!!



桜の木の下でハイ・ポーズ

編集後記

春爛漫と言えば「桜」が真っ先に思い浮かぶと思います。今年の桜の開花は全国的に早く、福井でも3月23日に開花宣言がありました。が、強風や大雨もなかったため長く桜を楽しめたのではと感じています。

さて、全国的にもコロナ感染者はなかなか減少に至っておりません。逆に変異ウイルスが猛威を振るっていますが、そのような中、入学式が行われたことは喜ばしいことでありました。

また、ようやくコロナワクチン接種が始まりました。まだ、65歳以上の方々ではありませんが一日も早く全国民・全世界の人々が接種できコロナが収束することを願うばかりです。

町民の皆様も、マスク着用はもちろん、ソーシャルディスタンスや4人以下での会食等、かなりストレスもたまっていると思いますが、もう少し、もう少し頑張つてこの難局を乗り越えましょう。

(大浦)